

刊夕日四十二月八

常磐毎日新聞

定価 一部金五銭 印刷金五銭 郵送金五銭
 廣告料 五銭 十二字 一行 金五銭
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社
 電話 六三〇

獨逸から郷里へ

警女出身 本多サノ

【五】

露國のエリザベット皇后
 奧太利のマリアテレジア皇
 后、佛蘭西王の寵妾マルキ
 ーゼ・ド・ボンパージュアが
 何れも其の母國に背を向け
 てプロシア王のために王冠
 を捧ぐる事を意味するのだ
 と云はれる。

この離宮は主として諸儀
 禮及國賓の宿所に充てられ
 サンスーシーにも比し美術
 的に優れておる、現慶帝ウキ
 ルヘルム二世は夏期此處に
 住まわれた相だ。この離宮
 の北にアンティケンテンベ
 ルがある、和蘭ドルンの亡
 命地に薨去された獨逸最後

ノート
 乗用自動
 車は一ガ
 ロン(四
 十一、二錢)のガソリンで
 約十九マイル(約八里)を
 走ることが出来る

の皇后の墓所である。
 其のそばにフロイドシャ
 フツ、テンベルがある。こ
 れは一七六八年フリードリ
 ツヒ大王が一七五八年に薨
 去された最愛の姉のために

贈つたギリシヤ式のテンベ
 ルである。フリードリツヒ
 大王は年少時代不良性を帶
 び誰の手にもかゝらなかつ
 たのであるが、その姉がこ
 れを憂ひ婚期を犠牲にして
 大王のために献身し、大王
 の將來あつた所以はひとへ
 に此の姉の努力に依るもの

★0000000000★
 ○明日の献立○
 ◎0000000000◎

【朝】味噌汁―茄子

小付 牛蒡から煮

【晝】トーストパン 牛乳

果物

【晚】龜甲焼き ます 花

かつを いさぎの一
 鹽やき

と云はれてゐる。

▽湖水通ひの汽船

ボツダムは湖沼が入り組
 んだ處にあると云つたが實
 は河とも湖水とも沼ともつ
 かぬ水系が或は狭く或は廣
 く、たとへば「つくね藪」の
 様に錯雜した形をして遠く
 伯林を貫くスプレー河へと
 連絡してゐる。この入り組
 んだ湖水とこれをかこむ美
 しい森とが伯林の郊外を美
 化して、都會の生活をやわ
 らめてくれる。東京の井の
 頭などはたいしたものだと
 思つてゐたが、あんな小さな
 ものではない。郊外全部森
 と水と云つてよい位。たと

▽廣 告△

山内醫院

平町・田町
 電話六九一番

磐城セメント會社特約店



毎度有難う存じます

レストラン
 平層館
 電話624

大倉屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は(大倉)の生命なり

池坊盛花華道會員募集

一ヶ年卒業 花型構成ノ原則ヲ解放
 初心者ヲ標準トシテ華道ニ關スル理論及技術ノ大
 要ヲ確實ニ習得セシム
 科目 華道應用盛花、投入、生花、立華
 教授場 性 源 寺 平町長橋町午前九時
 ヨリ正午マデ
 時期 毎週金曜 平出張事務所 平町田町午後一時ヨ
 リ夜間部アリ

講師 池坊華道會長 先崎翠峰先生
 申込其他 御用ノ際ハ電話五二六番
 (出張事務所 御利用下さい
 味岡子之松氏方)

◎尙御希望ニ應ジ出張教授モ致シマス

池坊華道會

株式賣買

合資三共商事

大町 電話三〇番

御位牌と
 佛壇佛具

平新川町

橋本屋
 電話一六三

9.5m.m

PONY

CINE-CAMERA

¥ 18.00

PROJECTOR

¥ 17.00

NISHIMURAY-

YAKUHO

TAIRA-2. TEL 3

増車御披露

陸の王者として定評ある流線型ダツチ
 ブラザース二輛増車致しました。タク
 シーの御使用の際は新車揃の尼子タク
 シーに御用命を御待致して居ります。
 大型貸切専門車も御座います。

尼子タクシー
 電話六四〇

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古を奨め致します

平町田町六九

喜多流 謠曲 仕舞 白土會

電話二二七番

地下採掘の可否 (八)

野崎満藏君に與ふ

川崎 文治

野崎尊兄。

平町と炭礦との共存共榮は、予もまた衷心より願ふ處である、故に警炭の繁榮と、平町の進展が唇齒輔車の連繫を保たねばならぬ事は、是れを深く確信して居る、従つて警炭の事業の旺盛化を祈る上からの一臂の地方的援助は決して惜しまない。

されど、消長逆晴し難き營利事業の炭礦と、子々孫々の樂土たる平町とが抱合心中に甘んずべきではない。地下採掘の不安と危険が一掃されない限り、吾々は、如何に警炭に好意を持つと雖も、直ちに同意を表して恬然たり得ないのである。

野崎尊兄。地下の寶庫を開鑿する事は國利の増進であるとは君の持論らしいが、僅かに百八十萬噸の石炭を平町の地下から掘り出さねばならぬ程、國富が行詰りを來して居るとは考へられない。また膨大な礦區を所有して出炭制限中の警炭が、今直ちに平町の地下に手を染めねば營業の持續にマゴつくといふ程窮迫して居る筈はない。

百八十萬噸の埋藏炭は、是れが採掘の壽命僅か一二ケ年である(警炭技術者證言)、着炭して二ケ年後には、平町の地下が空っぽになるのである、せめて是れが、廿年とか五十年とか繼續して採炭されるならば、或ひは何彼どの恩恵を蒙る節にもあらうが、僅か二ケ年の短い日子に、平町はどれ丈後顧の憂ひなき方途の完璧を期し得やうか、君の云ふ「事業が勃興すれば資本が集注する、而して人が集合する、消費と生産者が相俟つて其土地が繁榮する」等は單なる噓しがらせで、幼稚な小兒病的經濟觀に過ぎない、野崎尊兄。埋藏炭は掘り出さねばこそ、平町の地下が寶庫を以つて自負し得るであらうが掘り出して終へば萬事休す、寶庫は空っぽである、其後に及んで龜裂陥没等の被害頻發の慘狀相次ぐ時廢墟の如き荒涼たる郷土を顧みて長太息するも、既に遅いのである、野崎尊兄。掘るのはイツでも掘れる、而も掘る事に幾多の不安條件が嚴として存在する以上、「一思案」の慎重な態度が望ましいものではないか、故にこそ採掘の延期を圖り、其間の調査研究を約

した次第だ、野崎尊兄。君は曩に採掘不同意に賛成の一人である、然るに今日は全く態度一變して採掘同意を説く、此の豹變振り君は「心境の變化」でなく「時流の推移」だといふ。山半變じて變となる事がある、とすれば採掘反對論者が、採掘急進論者と手の平を代はすのもよからう、而し急進なら急進で、人を首肯せしむるに足る丈の理由がなければならぬ。然るに君の所見は「以上予が數回に亘つて縷説した如く、人々を不安から解放する上に於て、甚だその力に乏しい計りか、却つて吾人の疑惑を一層濃厚ならしめる點が多い。然も町會の多數が是として決した問題を、鑛山監督局に對して、反逆的の陳情を敢えて爲すが如きは、副議長たる君自

凶作全く解消し

繭も小麥も高い

緊張した更生氣分も

底抜けの景氣招來か

神谷農事試験分場調査に依る石城地方の稲作は一週間許り仲秋の様に涼しい氣温が續き早生物は花を開かず農家の神経を震はして居たが二三日前から眞夏の逆戻りで出穂は急速に現はれ早生は既に開花を終へ結實しつつ凶作を解消した其に本年は繭價が高く小麥も高いとあつて本年の農家經濟は緊張した更生氣分も抜ける様な景氣に包まれるであらうと

農民の精神

ゆるむを鞭韃

農村景氣の出現に警戒

郡下の農民は別項の如く最近繭、米、小麥等が何れも一二割方の高値を呼びいはいはゆる昨年の凶作に比して幾分農村景氣の出現をみて居る爲め全般的に農民精神が弛

身が、町會の威信を傷けるものであり、自治体に禍亂の種を撒く所爲である、斯かる公人として軌道を逸した行爲が、君の公開状の末尾にある一言、即ち「平町自身の永遠の福利増進の爲め公平に慎重に考慮」する事に合致した態度であるかどうか君の猛省を要求して己まない。【完結】

敵を撃破

警中平商共に堂々と躍進

北日本庭球の戦跡

東北學院庭球部主催第十二回北日本中等學校軟式庭球選手権大會に出場した平商警中軍の戦績左の如く兩校出場チーム全部が堂々相手チームを撃破して今廿四日午前九時からの第三回戦に臨んだ

- △第一回戦
 - 警(篠原四) — 古(細川中) 水野(中) 下園
 - 警(大谷) 不戦一勝
 - 中(宮川)
- △第二回戦
 - 平(小林四) — 小(本宮)
 - 商(篠原四) — 田(佐藤)

平(本田四) — 〇(仙) 大泉

商(岩佐)

△第二回戦

- 警(篠原四) — 〇(梅) 庄々木
- 中(水野四) — 中(佐々木)
- 警(大谷) 不戦二勝
- 中(宮川)
- 平(小林四) — 一(氣) 佐藤
- 商(篠原四) — 一(中) 千葉
- 平(本田四) — 〇(酒) 後藤
- 商(岩佐) — 〇(中) 眞島

低鐵棒終講 禮協石

城支部主催低鐵棒講習會閉會式は廿五日午後一時より舉式講師の講評、千出體育主事の挨拶、講習免狀授與等あり午後二時より第二

△古鍛冶 齊藤茂氏長男齊瑞男(二ツ)

校作法室で講師を圍んで座談會を行つた

平局明日出發 明廿五日郡山市安積中學グラウンドに開戦する縣内一二等局對抗野球戦に出場の平郵便局チームは明日午前四時自動車で出發する

平町人事

- 回出 生
- △番匠小路 松崎勇氏三女 美智子
- 回死 亡

高久醫院

院長 醫學士 高久 忠

副院長 新潟醫學士 赤羽 清

藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町田町 電話五一三番

花柳病科 専門

木村外科醫院

白炊入院の便あり

電話三〇九番

平町六丁目橋際

市原醫院

平町田町(電一一四番)

内科 小兒科 市原卯太郎

外科梅毒・淋病 市原三三男

入院隨時

投票場に祭神

各戸國旗を掲揚

棄権防止の警鐘や花火

平町は此程縣からの指令に依つて縣議選舉の投票日には左記項目を實施して投票者に緊張した気分を清き一票を行使せしめ肅正の實を擧げんと計劃中である。

△投票當日は各戸に國旗を掲揚せしめること
△投票所に神棚を設け當票者に適當に參拜せしめしめること
△投票所入口に國旗及肅正旗を掲揚する
△投票開始時刻はサイレン、警鐘、梵鐘太鼓を一齊に打鳴し煙花を上げること

十一歳の小年が

白晝街頭で釣銭を脅迫強奪

十五件の小鼠泥も發覺

平町六丁目居住日雇柴田次郎長男英雄(一)假名は去る廿日午後三時頃田町マーケツト前を通行中店内で買物して居た十五丁目某官吏の長男一郎(二)次男二郎(三)いづれも假名の兩君が釣銭を受取つて店を出るのを見て附近の松月堂菓子店前迄追跡し白晝人通りの多い中で強奪を圖り五錢銀貨一枚を捲き上げて買物をした事を被害者側の届出で昨廿三日夜英雄を自宅から平署に引致したが同人は是れ迄にも數回小鼠泥を働いて平署に檢舉されたが年少者の事に

亭主に

愛想盡し

夫婦分れを
平署に持込

平町才穂小路牧野原クニ(三)は大正十一年永戸村大字渡戸字檜木七一農黒川次男(五)の後妻に入り四人の

子供を生んだが亭主は放蕩者で賭博や飲酒に遊びふけり最近クニが病氣で平町大河内醫院に入院したが病院の費用は一丈も送らぬので東京の魚問屋に奉公して居る實子から仕送を受けて居た處最近の送金三十圓を亭主に横取りされて遂に夫婦別れを決し本日平署に訴へ出た

水道斷水

田町と驛前

平町水道部は田町地内消火栓新設並に修繕工事の爲め本廿四日午後十一時から明朝三時迄水道を斷水するが範圍は田町全部と驛前附近

白菜の規格統一

優良栽培者を表彰する

本郡農會は本郡産白菜の規格を統一するため先づ商標を一定市場に於ける聲價の向上を圖つて販賣を斡旋する様商標の共同印刷を各村農會にすゝめることになつたが同會は更に着々品質の向上を圖る目的から優良栽培者を表彰する計劃をたて

明日の天才
廿五日
朝 後 天
西の風晴曇半す

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
「うたのおけい」四家文子
後六、二五 趣味講座「新聞の發達」小野秀雄
後七、三〇 歌謡曲ヘレン
本田
後七、五〇 舞臺劇鼓の里
我當勘彌一座新宿第一劇場中繼
後九、〇〇 時事解説 高
白銀町の一部である

駿臺支部

平町に設置

既報明廿五日午後六時より平第三小學校講堂に明治大學辯論部の雄辯會が開かれるのを好機として平地方の同校出身門傳、市井兩辯護士、草野央氏、内郷村大越久五郎氏等が發起となり石城支部を設立すべく明廿五日小島教授の歡迎會席上で具体化せしめる由

草木も眠る刻限に

第三校が白土八幡で試膽會

平第三小學校は兒童の精神鍛練のため來る廿九日午後八時より尋常六年の希望兒童を募り試膽會を催すが場所は白土八幡宮境内で月のない丑滿時から一人宛拜殿にぬかづいて戻り講堂で静座等を行ふと

鮫川水利視察

茨城縣土浦町農業水利組合幹部十二名は昨廿三日入遠野村地内鮫川水利復舊工事箇所を視察し即日歸町した

平裁判たより

△石城郡川部村大字小川字根小屋小島炭礦生方辨次郎(三)が東京市瀧川町中里井上武一郎外一名所有の古レール四十三本價格百三十圓

高次
後〇、五〇(滿洲)
移動實況「松花江を遶る」
吉林より
後一、二〇 新人の午後
1 俗曲「富山小原節」飯口
慶一 2 落語「櫻風呂」兼坂
新吉(京都) 3 獨唱「神田
千鶴子(京都) 4 小唄
大槻峰夫 5 漫談「有閑マダ
ム」長谷川實文 6 端唄
田元子 7 獨唱「藤堂顯一
郎 8 小唄 仲靜子
後二、一五 吹奏樂 海軍
々樂隊
後二、四九 箏曲 日向嘉
野子他
後六、〇〇 ラヂオスケツ
價二十圓餘を窃取し昨廿三日夜平町で賣却せんと徘徊中を平署に檢舉された

「さやうなら夏休み」テ
アトル・ピツコロ
後七、三〇 日曜特輯ニユ
ース演藝「ニユース電話」
上泉秀信編輯
後七、五〇 名所案内くら
べ「慶州」藤崎美惠「京城」
韓玉順「金剛山」小林嘉夫
「平壤」張沫元(京城)
後八、一〇 落語「藥罐」三
升家小勝
後八、三〇 尺八「虚空鈴
幕」百瀬芳童他
後八、四五 箏曲 中能島
欣一他
後九、〇〇 浪花節「乃木
夫妻の伊勢參宮」廣澤瓢
右衛門

平職案紹介所報告
回 人を求める方
△配達 二十三才 尋卒月
五圓
△出前持 二十才 尋卒
月五十六圓
△女中 十六才 尋卒 給
料面談
△旅館番頭 尋卒 委細面
談
回 職を求むる方
△雜役 三十一才 尋卒
△洋服職 四十六才中二修
△店員 二十二才 尋卒
△木材店員 四十才 高卒

店主が店員
を連れて行
かれる
正シイ食堂
正シイ喫茶
正シイ酒場
平・田町
レストサロン
電三五二番

看護婦急派
求めに應じ
ます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七

藤沼醫院
平町・紺屋町
電話五〇七番



明治太平記

(上野野上)

(作) 寺島雄史

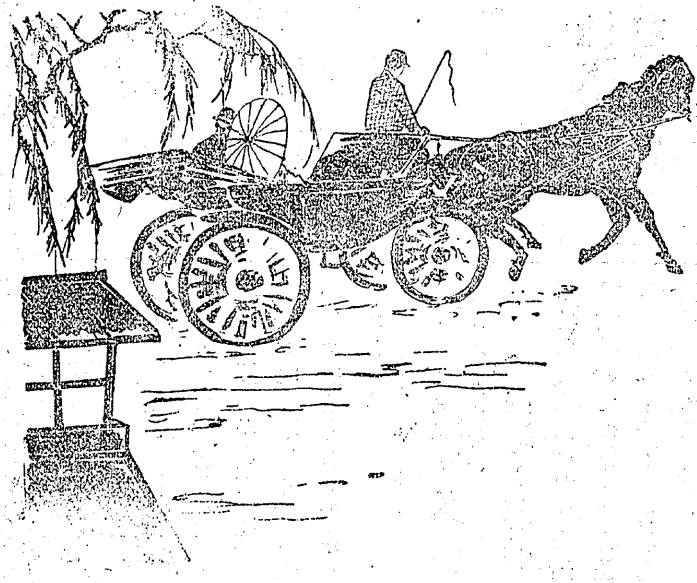
第二百八回

異人馬車 (七)

「わたくしは権力者です。日本の政治家を指導するの地位にある、力の所有者です。あなたに背かれ、黙つてを待つては、わたくしの権力者としての地位が立たず。わたくしは野蠻な日本人を幾人殺しても日本の官憲からは抗議がきません。あなたを殺します。」

「待つて、待つて下さい」
「いかに人斬りの異名をうたはれてゐる妙手でも、相手が飛道具では敵し難い。」
「いや」
「いゝえ、ちよつと待つて……では、だんなさまはあなたを愛してくださらないのですか」
「いや、愛するがゆえに憎む。これは當然のことです」

本街道を通ふ異人馬車の上で傍若無人にもパークスはピストルのつゝ先を、らしやめんの胸板に擬しながら大きな聲で叫んでゐる。
おふくの良順はこゝにもパークスを憎悪する材料を發見した。
「何といふ、日本を家畜扱ひするだけだものだから」



「ね、だんなさま、あたしだつて旦那さまを死ぬほど愛してますわ」
「では、なぜあなたはウエルズを愛してあげたいといふのですか？」

「ね、だんなさま、あたし顔を寄せ、そつとさうやいた。」「だんなさまの権力でウエルズを一日もはやく殺して下さい」
「これは馬車に氣兼ねてさうやいたのではなく、パークスにあまへて見せたのだ。」
「殺す？」
「パークスはちよつと厭な顔をした。」
「いやなんでございますか」
「日本人をこころすのを蛆虫」

「ですから、もうそんなこと申しませんわ、たゞ旦那さまのお心をためしてみたいのですわオホ、」
「……」
「パークスはいくらかけはしい顔をくづしピストルをクツシヨンの上に置いた。」
「ね、だんなさま、さういつてパークスの耳」

をこころすほどにも思つてゐらつしやらないくせに」
そしてまたパークスの耳に口を寄せて
「同じイギリス人を殺すことがそんなにおいや」
「しかし」
「いゝえ、おいやならよござんすわ、べしウエルズの奴にどんなにいちめられ

てもあなたはかまはないと仰しやるのねえ……よござんすわ、よござんすわ」
おふくは美しく拗てみせた。
「いや、そのことをこんな往來で相談するのはいけない」
「だつて、あなたは権力者なんぞでせう。日本の官憲なぞ蛆虫ほどにも思つてらっしゃらないくせに、よござんすわ、あなたは、あたしをそれほど愛してやしないのよ」
「いや、斷じて……ではおふくしやん、約束をしよう

あの男をきつと……」
「え、きつと、殺して下さい？」
「あなたのために、そしてふたりの愛の爲にあの男を殺さう」
パークスは暗い顔をして空を睨んだ。
「まあ、うれしい。それでこそあたしの旦那さまですわ」
おふくの良順はパークスの膝にもたれかゝつた。
異人馬車は本街道を往還の人々を黙殺しながらトクトコとかけてゐる。

産婦人科 院長 木村寅次郎
醫學博士 内本宗八
外科 藥劑師 立番彌一
平町新川町十九
病室完備 入院隨意 **木村病院**
電話一六四番

貴方の御家庭に
お手不足は御座りませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します

親切 料金は極めて低廉で
妊産婦の御家庭にお留守居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事や雑用

派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話二二三番)
上原家政婦會
會主 上原通子

内外科科一般
金成醫院
金成忠義
平鎌田町(電三五八)

◎最も理想的な相互扶助機關◎
中小商工業者の一歩福音
石城中小商工互融會生る

融資御希望の方へは
十銭の日掛をなし三十日以上掛金をすれば九十圓の御用立を致します
五分以上の割戻分配を致します

本會の事業
一、會公共事業及慈善事業への奉仕
二、懇談會併修養講話會
三、會員の吉凶慶弔
四、人事百般の相談
五、法律無料相談
六、診療救恤の補助
七、納税代納事務取扱
八、勤儉蓄積の奨励
九、小資本の融通
一〇、會員の特典

皆さん御利用を願ひます
相互扶助機關
石城中小商工互融會
福島縣平町搔樋小路一番地

専門 産婦人科
花柳病科
入院隨意
井坂醫院
平町田町 電話五五九番